

大森克己

すべては初めて起こる

写真展 「すべては初めて起こる」

12月15日(木) - 1月29日(日) POLA MUSEUM ANNEX

写真展 「言語と音楽と情熱」

12月16日(金) - 1月29日(日) マッチアンドカンパニーの書庫

写真展 「Los Angeles / ロス・アンヘレス」

12月16日(金) - 1月29日(日) Gingrich

大森克己 田附勝 高橋宗正 「写真家は東北で何を見たのか？」

12月2日(金) VACANT

大森克己 蜂飼耳 服部一成 「初めて起こる夜」

12月27日(火) Rainy Day Bookstore & Cafe

大森克己 中沢新一 「すべては初めて起こる」

1月13日(金) 多摩美術大学

大森克己本人による作品解説

1月14日(土) POLA MUSEUM ANNEX

KATSUMI OMORI Everything happens for the first time 2011-12

あまりにも初めて、のことを私たちが体験している2011年。写真家・大森克己の新作プロジェクト『すべては初めて起こる』を軸に「いま生きている写真」「いま生きている言葉」「3.11」を様々なジャンルの方々との対話を通して検証するとともに、本プロジェクト制作に至った軌跡を辿る展示を行い、大森克己の活動の現在を紹介します。

facebook ページ : <http://www.facebook.com/KATSUMI.OMORI.EHproject>

各イベントの最新情報や、大森本人によるプロジェクトにまつわる投稿を行っています。

Project committee : Ryoko Moichi (QUIET LTD.), Sawako Akune, Ikuko Muranaka (bookshop M)

本プロジェクト全体に関する広報のお問い合わせは(株)クワイエットが対応しております。

メール (mail@q-u-i-e-t.net) にてご連絡ください。

銀座・ポーラミュージアム アネックスで開催される写真展「すべては初めて起こる」に加え、浅草に新設のスペース Gingrich (ギングリッチ) と、通常は一般公開されていないデザイン事務所マッチアンドカンパニーの書庫での展示を開催します。

写真展「すべては初めて起こる」

2011年春、桜の開花に導かれて東京から福島へ。ランダムに入る淡いピンクのハレーションは私たちに何を問いかけているのでしょうか？

12月15日(木) — 1月29日(日) POLA MUSEUM ANNEX

11時 — 20時(入場は閉館の30分前まで) 入場無料 会期中右記を除き無休 [12月30日(金) — 1月3日(火)のみ休館]
中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 3階 Tel: 03-3563-5501 <http://www.pola.co.jp/m-annex/>



写真展「言語と音楽と情熱」

浅草・隅田川沿いのビル地下1階にある、デザイン事務所マッチアンドカンパニーの書庫で、大森のアーカイヴから「言語」と「音楽」のキーワードに沿って選ばれた写真によって構成される展示です。スタッフが在庫管理や発送作業、営業電話をしている中での一風変わった展示をお楽しみ下さい。

12月16日(金) — 1月29日(日)の木曜日 — 日曜日 マッチアンドカンパニーの書庫

12時 — 19時 要アポイントメント 入場無料 [12月30日(金) — 1月4日(水)休業]
台東区花川戸 1-3-6 花川戸ビル B1-1 Tel: 080-3161-5211(担当: 村中)

写真展「Los Angeles / ロス・アンヘレス」

「すべては初めて起こる」に登場するピンクのハレーションと邂逅した East LA で 2010 年に撮影された作品 10 点の展示です。「Los Angeles」とは、スペイン語で「天使たち」という意味なのです。

12月16日(金) — 1月29日(日)の木曜日 — 日曜日 Gingrich

12時 — 19時 要アポイントメント 予約先: info@gingrichinc.net
入場無料 [12月30日(金) — 1月4日(水)休業]
初日12月16日19時よりオープニングレセプション 台東区寿 3-8-4 鎌田ビル Tel: 03-6425-7973

「写真家は東北で何を見たのか？」

震災後、桜に導かれて福島へと旅して撮影された「すべては初めて起こる」を発表する大森、5年に渡る入念なリサーチの後、人々の暮らしや儀式を撮影した写真集「東北」を上梓した田附、宮城・山元町で津波のため持ち主不明になった写真を洗浄・データ化することで返却していくプロジェクトに関わっている高橋、3人の写真家それぞれが東北の地で体験したことを語り合います。

12月2日(金) VACANT 出演: 大森克己、田附勝、高橋宗正

開場: 19時 開演: 19時30分 料金: ¥1,000(税込・自由席) 渋谷区神宮前 3-20-13 Tel: 03-6459-2962

予約: VACANT booking@nOidea.com ※件名を「写真家は東北で何を見たのか?」とし、本文に「お名前/人数/ご連絡先」を記入したメールをご送信ください。万が一、2、3日経っても返信がない場合は、03-6459-2962(VACANT)までお電話ください。

「初めて起こる夜」

写真家と詩人とグラフィックデザイナーが「初めて、ということ」「起こる、ということ」「言葉はどこからやってくるのか?」などについて語り合います。大森の写真に登場するさまざまな生き物たちや、街で友人に偶然出会う喜びについても話します。もちろん蜂飼耳による詩の朗読も!

12月27日(火) Rainy Day Bookstore & Cafe 出演: 大森克己、蜂飼耳(詩人)、服部一成(グラフィックデザイナー)

開場: 18時30分 開演: 19時 料金: ¥1,500(税込・自由席/1ドリンク付)

港区西麻布 2-21-28 スイッチ・パブリッシング B1F <http://www.switch-pub.co.jp/rainyday/>

多摩美術大学公開講座「すべては初めて起こる」

ベストセラー「アースダイバー」(講談社)でタグを組んだ2人が、3.11以降の世界での芸術家の生き方や態度について大森の新作を通して学生の前で語り合います。大学の講座ですが、一般の方も聴講して頂けます。

1月13日(金) 多摩美術大学(八王子キャンパス・レクチャー棟Bホール) 出演: 大森克己、中沢新一(人類学者)

16時20分 — 17時50分(5限) 入場無料

問い合わせ: 多摩美術大学 芸術人類学研究所 八王子市鎌水 2-1723 Tel: 042-679-5697 iaa_info@tamabi.ac.jp

大森克己本人による作品解説

1月14日(土) POLA MUSEUM ANNEX

14時より 入場無料 要予約 問い合わせ: ポーラミュージアムアネックス Tel: 03-3563-5501 <http://www.pola.co.jp/m-annex/>

DIALOGUE
大森克己と様々なジャンルの人々との対話。